

しまんと

発行：四万十町教育研究所

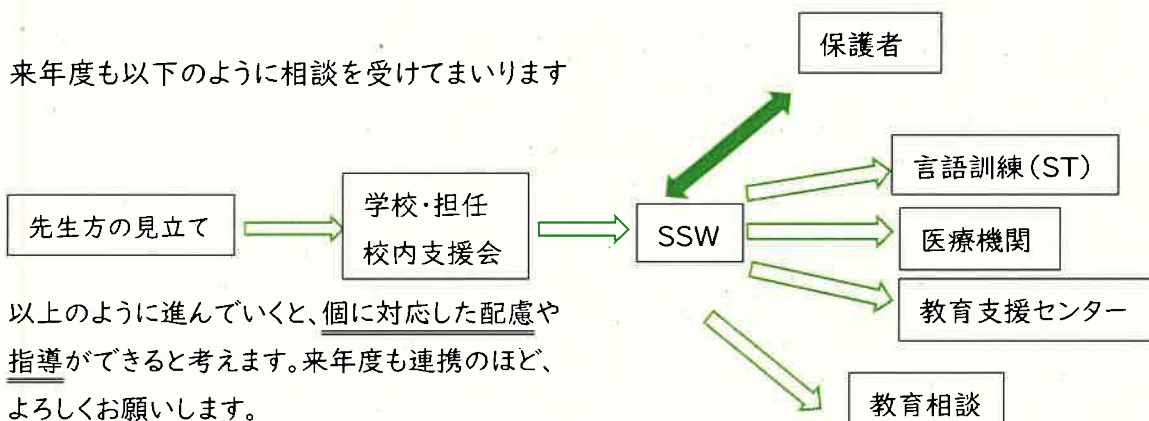
第104号（通し番号）

令和6年3月15日 発行

厳しかった寒さも少しずつ遠ざかり、春の訪れを感じる今日この頃、学校関係者の皆様におかれましては、年度末のお忙しいことと思います。本年度はコロナが第5類になったことで、学校も少しずつ以前のような活気が戻ってきたのではないのでしょうか。毎月のように来る学校便りには子どもたちの活躍が記されており、先生方がいろいろなことを工夫し、子どもたちに経験をさせてくれているのだと、大変うれしく拝見させていただいています。先日は窪川小学校の5年生が仁井田米をかわいいパンフレットとともに持ってきてくれました。かまわない人は能登半島地震の寄付をしてください、ということでした。この経験で子どもたちは何を学び、これからの生きる力にしていけるのか、それはまだ、子ども自身にもわからないことでしょう。しかし、先生方は「ねらい」を持ち、取り組んでいます。本当に頭が下がる思いです。私たちはこれからも温かく希望ある先生方や子どもたちを見守っていきたいと思います。

さて、本年度も教育研究所、教育支援センターの活動等にご協力いただき、ありがとうございました。SSW の校内支援会への参加で情報の共有ができたことや発達教育支援員による言語訓練ができましたことに感謝申し上げます。

来年度も以下のように相談を受けてまいります



以上のように進んでいくと、個に対応した配慮や指導ができると考えます。来年度も連携のほど、よろしくお願いします。



先日、七里小と米奥小の低学年児童と松葉川保育所の子どもたちのリズム遊びを見てきました。元保育士の藤沢先生の引くピアノに合わせて、いろいろなポーズをとっていました。児童は久しぶりに松葉川保育所の先生と再会したことを喜び、楽しい時間を過ごしていました。

アーテックロボを使って『歩行者用ミニ信号機』をつくりました

6年生理科「電気の利用」の発展的な学習として、研究所で保管しているアーテックロボを活用し、プログラムを作成してミニ信号機をつくる授業を6校で実施していただきました。青信号をうまく点滅させることができなかったり、青信号と赤信号が同時についてしまったり...失敗してもプログラムのどこがおかしいのかを考えて修正し、実際の信号機のように動作したときには「できたー!」と喜ぶ姿が見られました。



(児童の感想より)

- ・信号機もプログラムで動いていると知った。
- ・みんなのいろいろな意見を知れた。試行錯誤が大事。協力し合えて楽しかった。
- ・手順を考えて作ったり、点滅の速さを本物に近づけて作るのが難しかったけど、近い速さにできて楽しかったです。
- ・初めは点滅の仕方がよく分からなかったけど、いろいろと試していくうちに、何のブロックを使うとどういう風になるかが分かって、作ることができました。プログラミングは考えるのが少し難しかったけど、成功したらとても嬉しくなり楽しかったので、またやってみたいです。

中学校では、タイムカプセル株式会社の相澤さんを講師に招いて、プログラミング学習が行われました。「パソコンとプログラミングの技術があれば自分でゲームは作れる」ということで、DSを使ってゲームづくりの体験をしていました。



研究所の取り組みについて協力のお礼

本年度も研究所が関わっての鉛筆の持ち方教室やいのちの学習、QUのデータ提出、副読本「わたしたちのまち 四万十町」のアンケート調査等にご協力いただき、ありがとうございました。また研究員が校内研修に参加させていただいたり、ICTを活用している場面を参観させていただいたりしました。ICTの効果的な活用方法についての提案等、十分なことができませんでしたが、各学校のご理解、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和5年度 Q-U、hyper-QU アンケートの結果

研究所では、各学校の結果を集計して蓄積し、町内の児童生徒の傾向を把握するようにしています。本年度も1回目を1学期、2回目を2学期に実施していただきました。それぞれの学校で児童生徒理解や学級集団づくりのための資料とし、全教職員で気になる児童生徒の情報を共有して支援にあたるなどの取り組みをしていただいていることと思います。年度末になってしまいましたが、四万十町全体の結果をお知らせします。

小学校（R5 1回目）



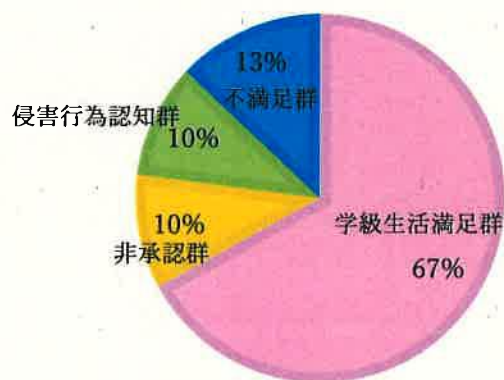
中学校（R5 1回目）



小学校（R5 2回目）



中学校（R5 2回目）

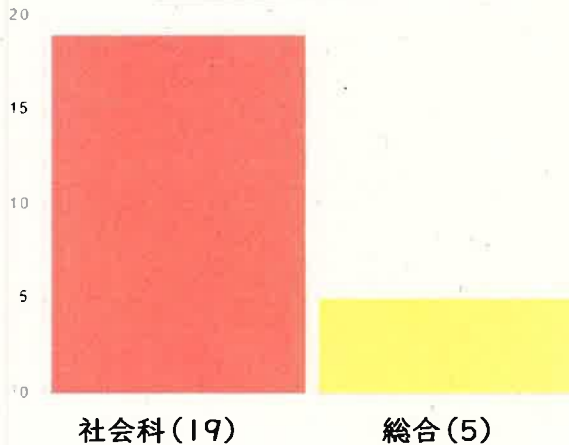


- ・1学期は小学1年生は実施しなかった学校が3校ありました。小学校全体では学級生活満足群の割合が1回目の76%から2回目は72%に下がっていました。
- ・中学校では学級生活満足群の割合が1回目61%から2回目67%に上がっていました。
- ・小学4年生以上を対象としたインターネットに関する質問「ネット上で友人から悪口や嫌なことをされる」「ネット上で仲間外しや無視される」についても確認をしています。ごく少数ですが、「される」と答えている児童生徒もいました。

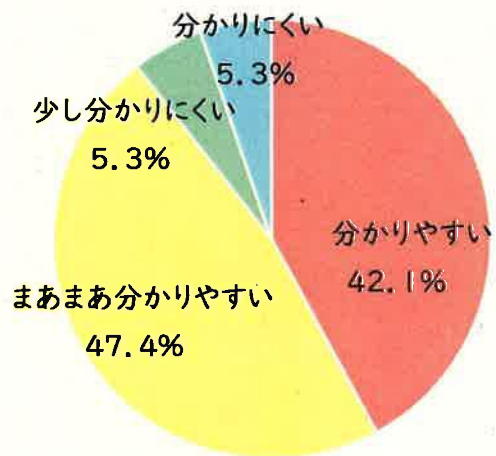
副読本『わたしたちのまち 四万十町』に関するアンケート結果

3、4年生担任の先生方には、お忙しい中副読本のアンケートに回答していただきありがとうございました。アンケートの集計結果を報告させていただきます。

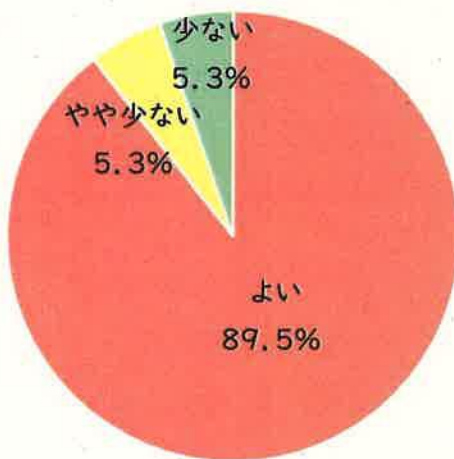
副読本を使用する時間



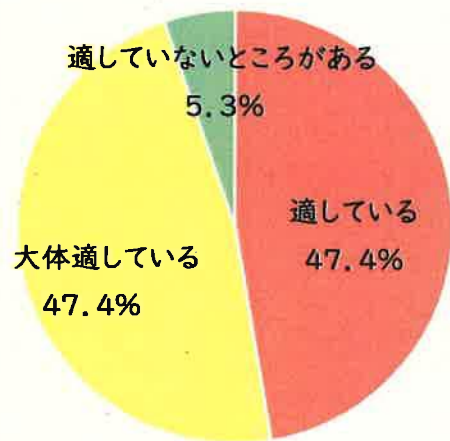
内容について



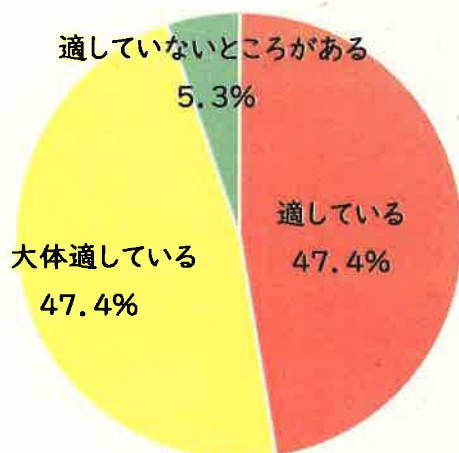
ページ数について



使用しているイラスト、写真等と本文の関連



取り扱われている内容（単元）



- ・社会科の授業の中での副読本の使用割合については、1割～8割とさまざまでした。
- ・写真や資料を新しいものにしてほしいという意見は多くいただいていますので、次回の部分改訂の際に対応したいと思います。
- ・令和7年度に部分改訂の編集作業を行うことから、来年度中に編集委員のメンバーを集める予定です。お声をかけさせていただくことがあるかもしれませんが、ご協力よろしくお願いします。副読本にそったテストがあればよいという意見も毎年いただいています。編集委員の先生に大変な負担をかけることとなりますので、副読本検証委員会の中ではテストの作成はしないという方向になっています。